



KÄPIÖ
autumn / winter 2017-2018



















[有明の月]

ヴィスコース レーヨンヘンリー
オレンジ/キヤメル
スモークベージュ/ブラック

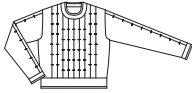
カビエの定番、ヘンリーシャツをレーヨンスパンのストレッチ糸で編み立てました。薄地でありながらストレッチ性を活かして、衿ぐりや肩のラインなど自然と体に沿う美しいラインを作り出し、ポイントとなるボタンは、ナチュラルなホーンボタンを使用しています。なめらかな肌触りで、素肌にも気持ちの良い素材ですので、オールシーズンお使いいただけます。



[森の住人]

ウールヘンリー
サーモンピンク × ベージュ
ロイヤルブルー × ライトグレー
アーク × ホワイト
ライトグレー × ホワイト

カビエの定番、ヘンリーシャツがバイカラーで登場します。肩章やベルトが付いたミリタリーテイストで、ジャケットのインナーとしても、トップスとしてシンプルにお召しになっても、スタイリングのポイントとなる1枚です。カシミア級のウールSuper 140' s の風合いもお楽しみください。



[山の継ぎ目]

プリーツプルオーバー
ホワイト/ライトグレー/サーモンピンク

カシミア級のウールSuper140' sの糸をボックスプリーツに編み立て、プリーツを一枚ずつ折り畳み、着用時に動きが出るような間隔で縫製で固定しました。衿、袖、裾のディテールを全て2重にし、手の込んだデザインがさらにモードに昇華されたスタイルのある1枚です。



[静寂の土]

ジャージータンクトップ
エクリュ

コットン、シルクの糸をリブ組織で編み立てたジャージーを使用したタンクトップです。肌触りの良さと素肌に見える色合いが特徴です。薄地のニットの下にご利用ください。



[雨露]

ジャージーキャミソール
カーキ/ブラック

コットン、カシミア、シルクの糸をスムーズ組織で編み立てたオリジナルジャージーを使用したキャミソールです。襟元にガラスビーズのロゴプリントがアクセントになり、おしゃれの幅が広がります。



[月の精霊]

ピンタックハイネック
ホワイト/ライトグレー/アイズブルー

立体的なパターンにピンタックをレイアウトして企画したボトルネックプルオーバーです。袖は大きめな袖にデザインし、袖口に向けて絞られていくピンタックがアクセントになっています。立体的なシルエットでありながら、薄地のニットですので、1枚でもインナーとしても活躍するアイテムです。



[小枝の会話]

ラダースティッチ プルオーバー
ベージュ × ダークカーキ
ピンクベージュ × チャコールグレー
グリーン × ブラック

2色の色がレイヤーになり、大胆なラインが特徴のプルオーバーです。編み目が針抜き組織になっているので、角度によって色の印象が変わります。レーヨンポリエステル糸を使用した薄地のニットで、オールシーズン着用していただけます。



[木々の波]

シルクレースブラウス
ベージュ/アザレア/ダークカーキ

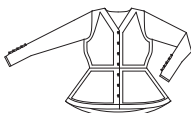
マットな美しいドレープが特徴のシルクジョーゼットと透け感のあるヘリンボーン柄のレーヨン素材を使用したニットが出会いました。襟元部分と袖山にタックを取り入れたことで、シルクジョーゼットのドレープや落ち感が光ります。ヘリンボーン部分も、レースのような繊細さをもちながら、しっかりと二重組織で編み立てており、ブラウスとしてもライトアウターのようにお召しになっても光る逸品です。



[湖面の月]

フリルジレ
ゴールド/ブラック

経糸にシルク、緯糸にアセテートを使用したハリのある生地をスエード加工し、重厚感がありながら軽量に仕上げました。Aラインのシルエットのジレは、シャツと合わせてタキシード風にも、ニットと合わせてフェミニンな装いにも、バリエーション豊かに着こなしていただけます。



[月明り]

ウール×シルク カーディガン
ロイヤルブルー × ホワイト
オートミール × ホワイト
ブラック × ホワイト

カビエはパーソンズ大学院時代に、イタリアのニット工場と共に通常の編み方ではできない、太さと質感の違う糸を活かした編み地を研究開発してきました。今回は、ウールとシルクという異素材の糸の組み合わせの編み地を、どう配置すると美しく見えるのか試行錯誤を重ね、上質なカーディガンを完成させました。質感の違う2種類の糸の融合によって、織り成される光と影の文様をお楽しみください。



[風の歌]

ロングカーディガン
アクア/オートミール/ダークグリーン

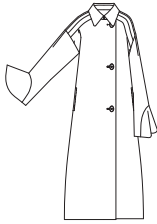
カーディガンの後ろ身頃をタックでつまむことですっきりとさせ、前身頃に美しいドレープが入るよう設計したロングカーディガンです。編み目の詰まった編み地にこだわり、カシミア級のSuper 140'sのウールの糸を使用しました。ストレッチ性に富みながらも、ハリがありツヤもある仕上がりで、ジャケットの代替としても着用いただけます。



[花卉の部屋]

ジャージーガウン
カーキ/ブラック

コットン、カシミア、シルクの糸をスムーズ組織で編み立てたオリジナルジャージーを使用したロングガウンです。ゆったりとしたサイズ感で、初秋の 아우ターとしても、コートの中のインナーとしても、お楽しみいただけるアイテムです。



[花の夢]

シルクトレンチコート
ゴールド/ブラック

経糸にシルク、緯糸にアセテートを使用したハリのある生地をスエード加工し、重厚感がありながら軽量に仕上げました。オーバーサイズなAラインのシルエットで、肩の切り替え位置やタックにこだわり、クラシックでありながら、コンテンポラリーな雰囲気を感じられます。袖口や肩のディテールの個性が光り、薄地のコートなので単体でも、ニットストールやケープをプラスして、レイヤー感のあるコーディネートも楽しめます。



[綿毛の旅]

カシミアブレ ジャケット
黒白杓 × ブラック
ブルーデニム × カーキ

カシミアブレの糸をオリジナルで制作、編立、風合い出しをし、コットン、カシミア、シルクのオリジナルジャージーと縫製で組み合わせました。襟が詰まったデザインなので、インナーに衿のあるシャツやブラウスや、またはカットソーを合わせても、コーディネートしやすいジャケットです。



[月華]

メタリックプリーツ スカート
ライトグレー × シルバー
キャメル × ブロンズ
ブラック × ブルーシルバー

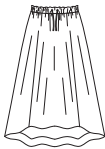
マットな質感の Cotton ポリエステルの糸とメタリックの糸の組み合わせのプリーツスカートです。プリーツの外側はマットに、内側はメタリックな質感でコントラストと美しい色の組み合わせが特徴です。透け感がありながら、ライニングのスカートが組み合わせられていますので、この1枚でお召しになれます。



[草花の歌]

ジャージーパンツ
ゴールド × カーキ
ブラック × ブラック

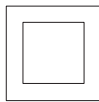
コットン、カシミア、シルクの糸をスムーズ組織で編み立てたオリジナルジャージーを使用したテーパードパンツです。ウエストベルトの部分に光沢のあるシルク混の生地を使用し、厚地のジャージーのゆったりとしたシルエットを美しく、着心地良く仕上げました。



[細波]

ジャージーロングスカート
ゴールド × カーキ
ブラック × ブラック

コットン、カシミア、シルクの糸をスムーズ組織で編み立てたオリジナルジャージーを使用したロングスカートです。ウエストベルト部分と裾に光沢あるシルク混の生地を使用し、ジャージーでありながら、ハリのある立体的なシルエットが特徴です。ジャージーならではの着心地とウエストベルトのデザインをお楽しみください。



[日の出]

インターシャ スカーフ
サーモンピンク × ゴールド
アクア × グレー

マットなウールの素材と光沢のあるブライトポリエステルの素材を組み合わせ、華やかなスカーフを制作しました。質感の異なる素材のコントラストをお楽しみください。



[蔓の壁]

インレイ編み ストール
アクア × ホワイト
オートミール × ホワイト
ブラック × ホワイト

カピエはパーソンズ大学院時代に、イタリアのニット工場と共に、通常の編み方ではできない、太さと質感の違う糸を活かした編み地を研究開発してきました。今回は、ウールの糸にシルク100%の糸を内側に編み込んでバスケット編みをしたストールを制作しました。大判でいながら長さ、軽さと薄さにこだわり、ハリがありながら巻きやすく仕上げました。編み目で表現されたブランドロゴがアクセントになっています。質感の違う2種類の糸の融合によって、織り成される光と影のテクスチャーをお楽しみください。



[鳥たちの恋]

モヘヤ×シルク ハンドニットケープ
フェルトグリーン/オーク/ブラック

祖母の遺した毛皮のケープからインスパイヤーされて、企画しました。このケープ1枚で、色々なスタイリングで遊ぶことができ、着こなしの幅が広がります。素材は、シルクとモヘヤを然り合せた糸を使用、シルクの光沢とモヘヤのふんわりとした柔らかい風合いの組み合わせが編み地に表情を付け、華やかでありながらコンパクトなケープになりました。ぜひ普段の装いにプラスアイテムとして、お楽しみください。

KÄÄPIÖ

Autumn/Winter 2017-18

www.kaapio.com

KÄÄPIÖ

[100年後も着たいニット]

時間軸を超えて、
美しくあり続けるものとは何か？

糸からデザインをし、作り出す絶妙なカラーバランスと異素材の組み合わせによって編み出すオリジナルテクチャーそして様々な編み方の取り合わせで生まれるシルエット。素材と編地、シルエットの究極のバランスを追求しアイテム1枚だけでスタイルを確立することができるそんな美しいニットをKÄÄPIÖは作りだしていきます。

Archives

Autumn/Winter 2015-16



Autumn/Winter 2016-17



Autumn/Winter 2015-16

POP-UP SHOP
at Nihonbashi Mitsukoshi
2015.11.11-11.17

Autumn/Winter 2016-17

POP-UP SHOP
at Ginza Mitsukoshi
2016.11.2-11.8
at Nihonbashi Mitsukoshi
2016.11.16-11.22

Kaoru Oshima's profile



KÄÄPIÖ 代表：大島 郁

セントラルセントマーティンズ芸術大学テキスタイル学科卒業後、NYへ渡米。パーソンズ芸術大学大学院ファッション学科に在学し、卒業コレクションをロロピアーナ社のスポンサーのもと、2012年にNYファッションウィークで発表。在学中からDiane Von Furstenbergで経験を積み、卒業後はRalph Lauren Black Labelのデザイナーとして活動。

2014年 日本に帰国後、KÄÄPIÖを立ち上げる。

国内の工場と最新技術を用いてコレクションを発表

2015年 公益財団法人日本服飾文化振興財団の主宰、

第1回「平成二十六年度服飾デザイナー助成制度」に選出される

2016年 株式会社 花王「エマール」のテレビCMに起用される

KÄÄPIÖのコレクション発表以外にも、様々な企業とのコラボレーションも行っている。

tel&fax:03-6658-5150 mail: info@kaapio.com

office:〒130-0015 東京都墨田区横綱1-6-1 KFCビル10階 スタジオNO.6